

淡谷本館展覧の解説

展示 さころも 物語 1 写本・版本・奈良絵本 1

期 5.57
5/31
6/19

。さころも (常磐松文庫)

写本 下紐しげ共六冊。柵形本。綴帖装。

紺地金泥表紙。

奥書「此狭衣抄二冊 臨濟齋紹巴被注之

依許可書写之畢 天正二〇年(1592) 中臣祐範

岡田真之蔵印、芸叢蔵印

。さころも (常磐松文庫)

写本 下紐共六冊。美

元和四年(1618) 連歌師 寛佐かんさ 書写

(東井坊と号す。豊後の人)

岡田真之蔵印。

。狭衣 (常磐松文庫)

古活字本八冊。紺地押型表紙。無刊記「元和頃」

原題簽 卷二下・卷三上下の三冊のみ存す。

。さころも (お伽草子) (常磐松文庫)

写本 奈良絵本三冊。横本

奥書なし。「寛文・延宝頃」

狭衣物語に取材したお伽草子で、奈良絵本とは、奈良の春日神社の絵所の絵師の筆になった挿絵で

あるところから生じた名称であるといわれているが、諸説ある。

。さごろも（お伽草子）

（常磐松文庫）

版本二冊。色絵刷挿絵。

寛文五年⁽¹⁶⁶⁵⁾ 松會開板。

右記と同様のお伽草子。松會版とは、徳川家の御用書肆「松會市郎兵衛」が出版した版本で、江戸の初期から末期まで、代々、屋号を継承して出版された。